

令和3年4月15日

奈良県総合医療センターにおける職員（看護師）の 新型コロナウイルスの感染について

奈良県総合医療センターにおいて職員（看護師）が、新型コロナウイルスに感染したことが判明しました。感染の経緯及び対応についてお知らせします。

○経緯等

感染者は、当センターの看護師で奈良市在住の20代女性です。

4月1日付け新規採用者で4月9日まで新規採用者を対象としたオリエンテーション(研修)に参加していました。

4月5日新規採用者を対象とした院内PCR検査を実施していますが、陰性の結果でした。

4月12日に同居家族に発熱があり、かかりつけ医でPCR検査を実施したところ陽性であったため家族間感染疑い濃厚接触者となり、翌日にPCR検査を実施し、14日に当人も陽性と判明しました。

研修期間中は、全員常にマスクを装着していました。また、食事は当センターの職員食堂において混雑を避けるため時間をおき区画された席で摂っていました。

12日からは、同居家族が発熱のため出勤停止としていました。

○病院の対応について

当該職員は研修中であり、4月1日から陽性判明まで医療現場には入っておらず、講堂にて研修受講していました。特に近くで接触したと考えられる受講席の近隣者と4月9日の救急法で関与した講師1名、新規採用者7名の接触者及び勤務終了後、同乗して帰宅していた先輩看護師1名、計9名は濃厚接触者ではありませんが、万全な院内感染防止のため、2週間、出勤停止・自宅待機として健康観察を行うこととしました。

研修場所は、研修開始と終了後時にふき取り消毒を実施していました。

また、あらためて職員全員と家族を含めた感染防止を徹底するよう周知いたしました。

○診療等への影響

現時点で感染した職員以外の職員並びに患者への感染は確認されていないこと、職員の勤務時の感染防止対策を徹底していることから外来・入院診療は継続します。

今後も継続して感染防止に向け、対応を徹底してまいります

○本件問い合わせ先

奈良県総合医療センター 特命院長補佐・兼事務部長
村田 庄司

TEL 090-5164-5953

FAX 0742-46-6011